

Vol.115

2016年6月号

ふみだそう、福祉でまちづくり

ファミリー・サポート・センター事業がはじまります

茅野市ファミリー・サポート・センターは、子育ての援助を受けたい人と子育てを支援したい人が会員となり、安心して子育てができるように支え合う有料の会員組織です。平成28年度から、茅野市社会福祉協議会が茅野市より受託し事業を実施します。

※ご利用には、事前にファミリー・サポート・センターへの会員登録が必要です。



7月からの事業開始に向けて、子育ての援助を受けたい方（依頼会員）を募集します。

【利用対象は…】

おおむね生後3ヶ月の乳児から12歳までの児童

【お手伝いできる内容は…】

- ①保育園や学童クラブ等の開始前および終了後子どもを預かること
- ②保育園や学童クラブ等への子どもの送迎を行うこと
- ③仕事や買い物等で、子どもを預かって欲しいとき など

【利用できる時間は…】

午前7時から午後8時（12月29日から1月3日の間は除く）

【お手伝いを行う場所は…】

お手伝いをしていただく方（援助会員）または子育ての援助を受けたい方（依頼会員）のお宅でお預かりをします。

【料金は…】

活動日	活動時間	利用料 (子ども一人につき)
平日 (月曜日から金曜日)	午前8時30分から午後5時	800円/1時間
	午前7時から午前8時30分	900円/1時間
	午後5時から午後8時	900円/1時間
土曜日・日曜日・祝日	午前7時から午後8時	900円/1時間

○利用時間は1時間を基本の単位とします。

○兄弟姉妹を預ける場合は、2人目から半額となります。



「ファミリー・サポート・センター事業」に関する詳しいお問い合わせは、茅野市社会福祉協議会（☎ 73-4431）まで、お気軽にお尋ねください。

平成28年度 茅野市社会福祉協議会の事業と予算

市民一人ひとりを大切にした総合的な地域福祉の推進を目指して、平成28年度は下記の事業に取り組みます。



予算総額 514,317 千円



福祉を支えるための

総合支援・応援体制づくりを推進します

(119,845 千円)

社協会員の加入促進や社会福祉大会の開催、社協情報紙の発行などを行うとともに、様々な生活課題に対して総合的に支援、応援できる社協体制の充実を図ります。



ボランティア・市民活動（市民力）を推進、支援していきます

(28,425 千円)

地域・学校などで“ふくし”の心を育む福祉教育（共育）学習を行うとともに、情報紙「たまご」の発行を通して情報発信に努めます。また、地域のボランティア活動を広げるための研修・情報提供などの企画及び機会をつくり、様々なボランティア・市民活動が広がるために総合的な支援を行います。



車いす体験

“心のこもった” 介護サービスを提供します

(217,235 千円)

訪問介護（東部・西部訪問介護事業所）や通所介護（西部デイサービス）、ケアマネージャー業務など、高齢者や障害のある方が安心して地域で生活が続けられるようにきめ細やかなサービスを提供します。

みなさんの地域づくりを応援します

(57,611 千円)

各エリアの地域生活支援係が、地区社協や福祉推進委員の活動支援を行うとともに、戸別訪問を通して子どもから高齢者まで全ての人が安心して暮らせる地域づくりの支援を行います。平成28年度からは、地域生活支援係の職員を増員して各地区の支援に取り組みます。



宅配弁当

一人ひとりを支え、応援します

(58,695 千円)

住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくために、総合相談や貸付事業、住民参加型福祉サービス、配食・移送サービスなどの事業を、利用者一人ひとりの状態とニーズに即して行います。平成28年度からは、ファミリー・サポート・センター事業、法人後見事業にも取り組んでいきます。

障害のある方の居場所づくりや就労支援をします

(32,506 千円)

「あすなろセンター」や「ピアあすなろ」の運営を通して障害のある方に、就労の機会、機能訓練、社会参加の場を提供していきます。また、特定相談事業所として、適切なサービスが受けられるように利用者の希望に沿った計画を作成します。

詳しくは、茅野市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。社協事務局へお問い合わせください。

心や気持ちが変われば、態度や行動が変わります。I君のハートは美しく咲き続けることでしょう。

「学校のフロンターに花を植える時も「さっさとやって、終わりにしちゃえ」から「がんばって、きれいに咲いて」に気持ちが変わる。自分の気持ちが変わると同じ事も嫌で仕方なかったことが、ちつとも嫌じゃなくなるのは不思議でした。今、昇降口に咲いている花を見て、みんなの心をやさしくしてくれたらいいと思います。そうして、やさしい気持ちが学校みんなに伝われば…」

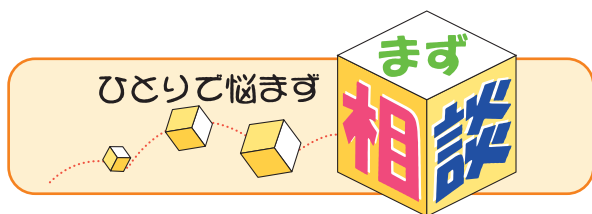
ガラツと変わる。

「あすなろセンター」や「ピアあすなろ」の運営を通して障害のある方に、就労の機会、機能訓練、社会参加の場を提供していきます。また、特定相談事業所として、適切なサービスが受けられるように利用者の希望に沿った計画を作成します。

茅野市・富士見町・原村の保護司会発行「茅野保護だより」(第四十一号)茅野市泉野のI君の作文「花からのメッセージ」を読む機会があった。

I君の家は菊作り農家で、お盆、お彼岸は特に出荷で忙しくて、夏休みは留守番、出荷の手伝い、家事の手伝いばかりで、家族で出かけることができなかったでしょうがなかったそうです。





人生には様々な悩みがあります。
「誰にも相談できない」
「どこに相談したらよいかわからない」
そんなときは、まず社協にお電話ください。

☎73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

(第3金曜日は年金相談もできます)

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(精神保健福祉士が対応)

会場：市役所議会棟1階(社会福祉協議会相談室)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

会場：市役所議会棟1階和室

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

会場：市役所議会棟1階(社会福祉協議会相談室)

福祉やボランティアの相談

ボランティアを始めたい方、
活動の中で困っている方の相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

社協情報紙 **やらざあ** Vol.115

2016年6月号

発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集/やらざあ編集委員会

〒391-8501 茅野市塚原2-6-1

TEL (0266)73-4431

FAX (0266)73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費と共同募金が使われています。

読者の声

・地区社協の活動を拝見しました。地域をよくするための大切な取り組みだと思いました。(茨城県 30代 男性)

・各地域の地区社協の様子がよくわかり良かったです。地域ごとに特色のある活動を知ることができて勉強になりました。つぶやきの中にあった「まずは自分自身の生き方を考え、家族や身近な人と話し合う場が大切だ」ということがよくわかりました。

(湖東 70代 女性)

今回の
クイズ

お舟祭りクイズ



御柱祭は数えて7年に1度の開催ですが、毎年下諏訪町で行われている「お舟祭り」が今年も8月1日に開催されます(宵祭りは7月31日)。今年のお舟祭りの御頭郷(担当曳行地区)はどこでしょうか。

① 豊平・泉野・玉川地区

② 米沢・湖東・北山地区

③ ちの・宮川地区

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

6月17日(金)

前回のクイズの答え

② 守屋山

当選者

牛山フミ子さん(湖東) 小林克雄さん(茨城県)
当選された方には図書カードをお送りいたします。

前回のクイズは難しかったですでしょうか。
正解者は2名でした。

たくさんのご応募
ありがとうございました。



お知らせ

2016年6月号(今号)より「やらざあ」の紙面構成を変更させていただきます。

これからは発行号によって拡大版、通常版の2種類の紙面構成にしていくこととなりました。

茅野市社会福祉協議会の活動を市民のみなさんにより一層ご理解いただくための紙面構成となるように努めてまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。